NTT AT

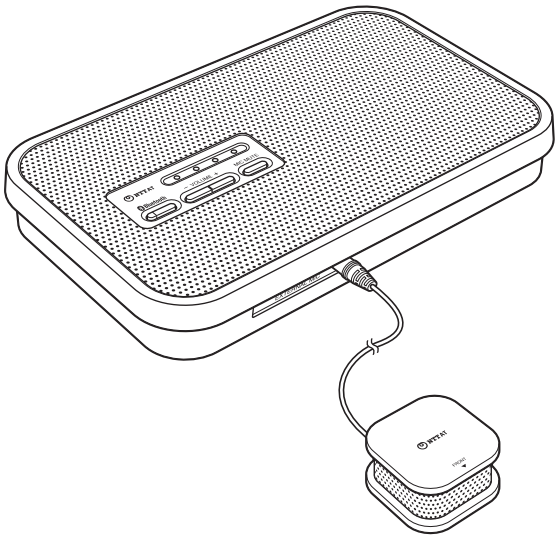
会議用マイク・スピーカー

R-Talk 800EX

R-Talk 800PC

取扱説明書 兼 保証書

第3版　2013年6月1日



NTTアドバンステクノロジ株式会社

技術基準適合認証品

目　次

安全にお使いいただくために……3
セットの確認……8
R-Talk 800EXセットの確認 ……8
R-Talk 800PCセットの確認 ……9
オプション品……9
各部の名称および操作方法…… 10
ランプ表示…… 11
電話機と接続して使用する(R-Talk 800EX) …… 12
携帯電話とケーブルで接続して使用する(R-Talk 800EX、R-Talk 800PC) …… 13
携帯電話とBluetoothで接続して使用する(R-Talk 800EX) …… 14
Bluetooth機器とペアリング(登録)操作をする …… 14
Bluetooth機器と接続する／切断する …… 15
パソコンとUSB接続して使用する(R-Talk 800EX、R-Talk 800PC) …… 16
パソコンの設定を確認する(Windows 7／ Windows Vista) …… 17
・設定の確認…… 17
・マイク音量とスピーカー音量を調整する…… 18
パソコンの設定を確認する(Windows XP) …… 19
・設定の確認…… 19
・マイク音量とスピーカー音量を調整する…… 19
拡張マイクの使いかた…… 21
R-Talk 800EXの仕様 …… 22
R-Talk 800PCの仕様 …… 23
保証書／保証規定…… 裏表紙

本書は、R-Talk 800EXとR-Talk 800PC共通の取扱説明書 兼 保証書です。
本書の操作手順説明のイラストは、R-Talk 800EXを例に記載しています。

©2013 NTT Advanced Technology Corporation. All Rights Reserved.
R-Talkは、NTTアドバンステクノロジ株式会社の商標です。
本取扱説明書 兼 保証書の記載内容についての版権は、NTTアドバンステクノロジ株式会社に帰属します。許可なく複製・改変・転用することはできません。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書 兼 保証書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、お買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品は、クラスB情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- ●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めになった販売店へお申しつけください。
- ●本商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- ●記載している画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので、詳細は本商品にてご確認ください。また、機能向上のため画面は予告なしに変更される場合があります。
- ●使用済の電池は貴重な資源です。使用後は端子が接触しないように、端子にテープを貼るなどの処置をしてから、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。なお、本文中に™、®マークは明記しておりません。
Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

⚠危険

●乾電池やニッケル水素電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
●ニッケル水素電池の充電は、指定された充電器を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
●乾電池やニッケル水素電池は、プラス(＋)・マイナス(－)の向きが決められています。電池の向きを確かめて正しく入れてください。間違った向きで入れると、電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
●乾電池やニッケル水素電池を使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
・火の中に投入したり、加熱しない。
・直接はんだ付けしない。
・プラス(+)・マイナス(－)を針金などの金属類で接触しない。
・外装チューブ(被覆)をはがしたり、傷つけない。
・水や海水に付けたり、ぬらさない。
●乾電池やニッケル水素電池を分解、改造しないでください。電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

設置について

⚠警告

●本商品や電源アダプタのそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
●本商品や電源アダプタを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
・屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所。
・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所。
・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
●R-Talk 800EXは、次のような場所で設置・使用しないでください。
・医療電気機器に近い場所。
・自動ドア、火災報知器などの自動制御機器に近い場所。
・心臓ペースメーカの装着部位から22 cm以内の位置。

お取り扱いについて

⚠警告

●電源アダプタは、AC100 V～240 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●電源アダプタは、電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
●電源アダプタは必ず専用のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関してはお買い求めになった販売店にご相談ください。
●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜き、乾電池やニッケル水素電池を外して、煙が出なくなるのを確認し、お買い求めになった販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
●万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、本商品内部や電源アダプタに異物や水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜き、乾電池やニッケル水素電池を外して、お買い求めになった販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
●本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理はお買い求めになった販売店にご依頼ください(分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります)。
●電源アダプタコードやUSBケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードが傷んだらお買い求めになった販売店に修理をご依頼ください。
●電源アダプタコードやUSBケーブルが傷んだ状態(芯線の露出、断線など)のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜いて、お買い求めになった販売店に修理をご依頼ください。
●本商品や電源アダプタに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源アダプタの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●本商品をお手入れするときは、電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。
●本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。
●本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。
●本商品の開口部などから内部に金属類や燃えやすい物などの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜き、乾電池やニッケル水素電池を外して、お買い求めになった販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
●医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
●本商品を移動するときは、電源アダプタやUSBケーブルを抜いたことを確認してから行ってください。電源アダプタやUSBケーブルが差し込まれたまま移動すると、電源アダプタコードやUSBケーブルなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●電源アダプタを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタを持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
●本商品や電源アダプタコード、USBケーブルを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●近くに雷が発生したときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。
●乾電池やニッケル水素電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

設置について

⚠注意

●本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
●屋外に渡る配線は行わないでください。特に建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

お取り扱いについて

⚠注意

●本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜き、乾電池やニッケル水素電池を外してください。
●本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。
●本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
●本商品の電源を入／切するときやUSBケーブル、ハンドセットコード、携帯電話ケーブルを抜き差しするときは、耳をスピーカーから離してください。スピーカーからの大音量により人的傷害が発生する可能性があります。
●通話中に本商品の電源を切ったり入れたりしないでください。通話中にUSBケーブルやハンドセットコード、携帯電話ケーブル、拡張マイクのケーブルを抜き差ししないでください。本商品や通話相手のスピーカーからの大音量により人的障害が発生する可能性があります。
●乾電池やニッケル水素電池は正しくお使いください。以下のことを必ず守ってください。
・乾電池は、使用推奨期限内の単3形アルカリ乾電池をお使いください。
・ニッケル水素電池は単3形をお使いください。
・新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる乾電池、乾電池とニッケル水素電池を混用しないでください。
・消耗した乾電池は、すぐに交換してください。
・乾電池やニッケル水素電池の液漏れによる本商品の故障については保証いたしかねます。

設置について

STOP お願い

●本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください(電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)。
・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
●硫化水素が発生する場所(温泉地)や、塩分の多いところ(海岸)などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて

STOP お願い

●電源を再度入れる場合は、電源を切った状態から5秒以上経ったあとに行ってください。
●本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
●本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
●ハンズフリー通話のとき、以下の点に注意してください。
・マイクの前には、物などを置かない。
・マイクを手で覆わないでください。「ピー」と鳴ることがあります。

・以下のような場合、スピーカーからの音が途切れることがあります。
・相手のお話しが終わらないうちに、こちらから話しかけたとき。
・相手と同時に話し始めたとき。
・周囲の騒音が大きい場所に置いたとき。

●R-Talk 800EXは、デジタル信号を利用した通話を傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。この点に十分配慮してご使用ください。

電波干渉について

R-Talk 800EXの無線方式には、2.4 GHz(ギガヘルツ)の周波数帯の電波を利用する、Bluetoothを用いています。この周波数帯の電波はいろいろな機器(電子レンジ、無線LAN など)が使用していますので、電波の干渉により、お話し中に音声が途切れたり聞きとりにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。R-Talk 800EXは電波干渉の影響を受けにくい方式としていますが、下記の内容に注意してください。

●電子レンジなどを使用中に、近くでR-Talk 800EXを使用すると、音声が途切れたり、使えなくなることがあります。R-Talk 800EXは電子レンジなどから離して設置してください。(目安: 約3 m以上)

●ラジオ、テレビ、無線機器およびアンテナ線から3 m以上離してください。雑音や映像の乱れの原因になります。

●無線LAN機器(ルータ、AV機器、防犯機器など)を使用している環境でR-Talk 800EXを使用すると、音声が途切れたり、接続が切断されたり、無線LAN機器の動作に影響を与えることがあります。R-Talk 800EXを、無線LAN機器からなるべく離してご使用ください。

●その他、下記の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声が途切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作にも影響を与えることがあります。できるだけ、設置場所や使用場所を離してください。
・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
・工場や倉庫などの物流管理システム
・万引き防止システム(書店やCDショップなど)
・鉄道車両や緊急車両の識別システム
・ワイヤレスAV機器(テレビ、ビデオ、パソコンなど)
・火災報知器
・マイクロ波治療器
・自動ドア、自動制御機器
・アマチュア無線局
・その他、Bluetooth対応機器やVICS(道路交通網システム)など

●R-Talk 800EXは、2.400 ～ 2.4835 GHzの帯域を使用する無線設備を内蔵しています。移動体識別装置の帯域を回避不可で、変調方式は「FH-SS 方式」、与干渉距離は10 mです。
R-Talk 800EXには、それを示す右のマークが貼り付けられています。

※Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標であり、使用許諾契約の下で当社にライセンスされています。

電波に関するご注意

R-Talk 800EXの使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

●R-Talk 800EXを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。

●万一、R-Talk 800EXから移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにBluetoothでの接続を中止したうえ、お買い求めになった販売店へご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。

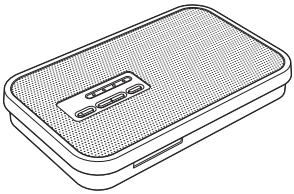
●その他、R-Talk 800EXから移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合には、お買い求めになった販売店へご連絡ください。

セットの確認

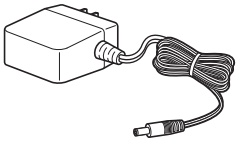
R-Talk 800EXセットの確認

ご使用の前に、セット内容をご確認ください。

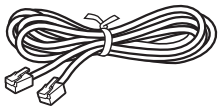
●本体…… 1台



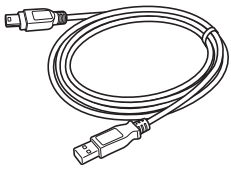
●電源アダプタ
（コード約2 m）…… 1個



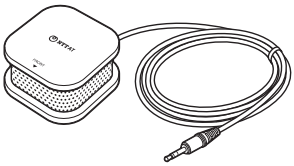
●ハンドセットコード
（約3 m）…… 1本



●USBケーブル
（約3 m）…… 1本



●拡張マイク
（コード約2 m）…… 1個



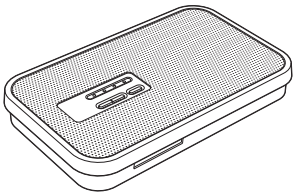
●取扱説明書 兼 保証書
（本書）…… 1部

セットに足りないものがあったり、取扱説明書 兼 保証書に乱丁・落丁があった場合は、お買い求めになった販売店へご連絡ください。

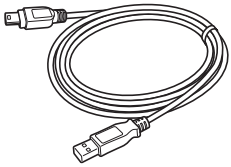
R-Talk 800PC セットの確認

ご使用の前に、セット内容をご確認ください。

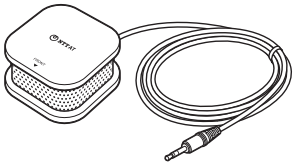
●本体…… 1台



●USBケーブル
（約3 m）…… 1本



●拡張マイク
（コード約2 m）…… 1個



●取扱説明書 兼 保証書
（本書）…… 1部

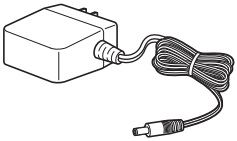
セットに足りないものがあったり、取扱説明書 兼 保証書に乱丁・落丁があった場合は、お買い求めになった販売店へご連絡ください。

オプション品

オプション品については、お買い求めになった販売店にお問い合わせください。

●R-Talk用電源アダプタ RT-OPT-AC1

R-Talk 800PC用です。
R-Talk 800EXではセットに含まれます。



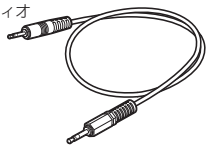
●R-Talk用拡張マイク RT-OPT-MIC1

本商品には、拡張マイクを4個まで接続できます。

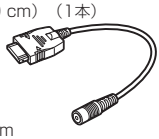
●R-Talk用携帯電話ケーブルセット RT-OPT-CBL1

携帯電話ケーブルは、ケーブル5本がセットになっています。ご利用の携帯電話に合わせてお使いください。

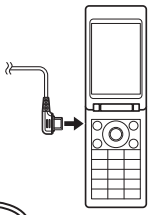
3.5 mm プラグ⇔2.5 mm プラグステレオオーディオケーブル（約1 m）（1本）



2.5 mmジャック⇔docomo/SoftBank 外部接続端子ケーブル（約10 cm）（1本）

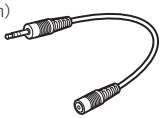


<接続例>

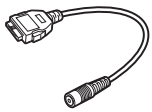


2.5 mm ジャック⇔携帯電話イヤホンマイク接続端子ケーブル（約10 cm）（1本）

2.5 mmジャック⇔3.5 mm 4極プラグ（スマートホン用）ケーブル（約10 cm）（1本）

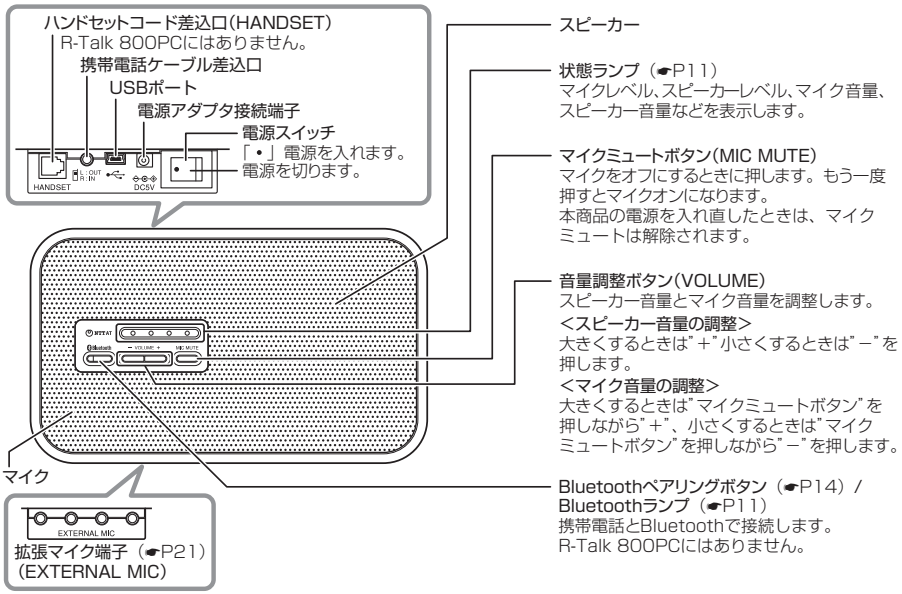


2.5 mmジャック⇔au外部接続端子ケーブル（約10 cm）（1本）

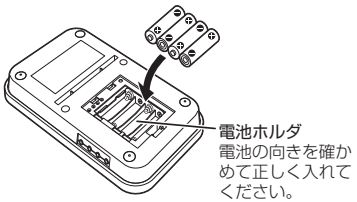


各部の名称および操作方法

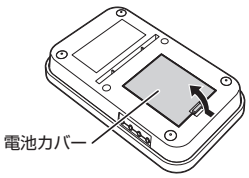
以下の説明はR-Talk 800EXです。R-Talk 800PCには、ハンドセットコード差込口、Bluetoothペアリングボタン/Bluetoothランプはありません。



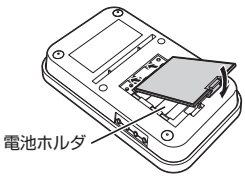
電池ホルダ（底面）
電池カバーを開け、単3形乾電池4本または単3形ニッケル水素電池4本を入れます。



●電池カバーの開けかた



●電池カバーの閉めかた



ワンポイント

●スピーカー音量とマイク音量は

ともに12段階に調整できます。お買い求め時は「6」に設定されています。本商品の電源を入れ直したときは、スピーカー音量は「6」の音量に戻ります。本商品の電源を切ってもマイク音量の調整値は保持されます。

●電池で使用するには

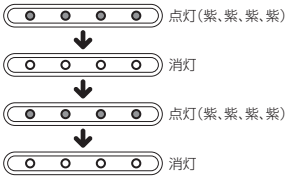
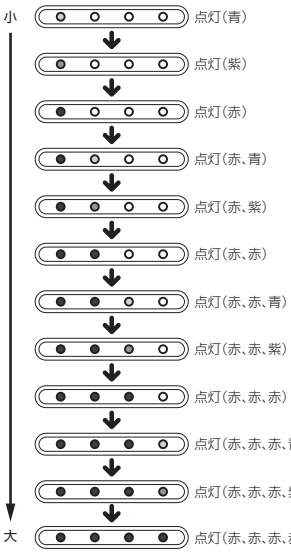
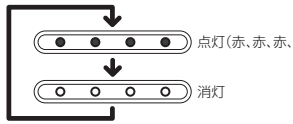
電池ホルダに市販の単3形アルカリ乾電池4本または単3形ニッケル水素電池4本を入れます。新品の単3形アルカリ乾電池または満充電の単3形ニッケル水素電池で約120分間通話ができます(スピーカー音量「6」の場合)。電池の残量がなくなると、本商品は動作しなくなります。単3形アルカリ乾電池または単3形ニッケル水素電池はお客様でご用意ください。

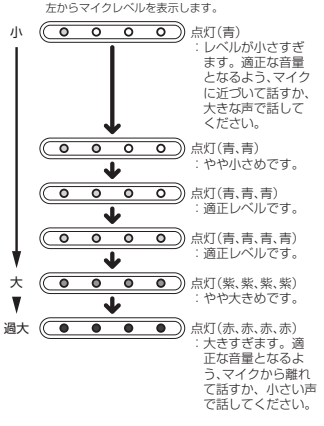
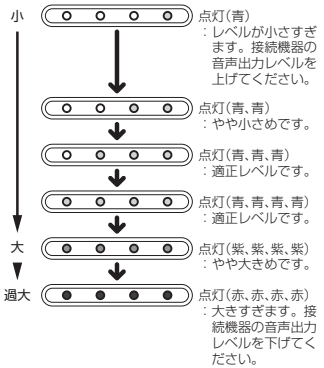
STOP お願い

●ハンドセットコード、携帯電話ケーブル、USBケーブルはいずれか1つのみを接続してください。

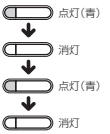
ランプ表示

■状態ランプ

状　態	ランプのつきかた(色)
電源を入れたとき	
待機時	 右端のランプが点灯(青)する場合もあります。
スピーカー音量またはマイク音量を調整しているとき	ランプ一つが３段階を表示し、12 段階に調整できます。 
マイクミュートのとき	 点灯、消灯の繰り返し

状　態	ランプのつきかた(色)
こちらが話しているとき(マイクレベル)	
相手側が話しているとき(スピーカーレベル)	

■Bluetoothランプ(R-Talk 800EX)

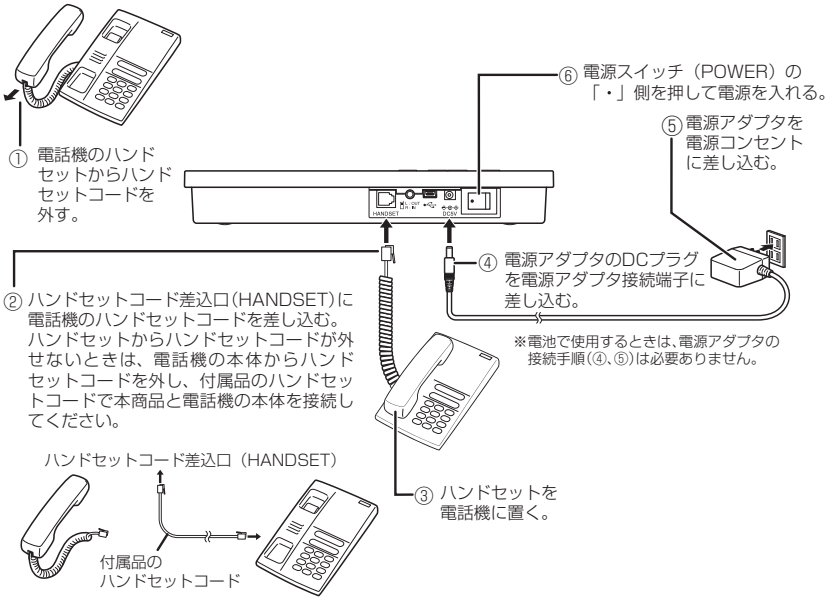
状　態	ランプのつきかた(色)
接続中	
ペアリング中	

ワンポイント

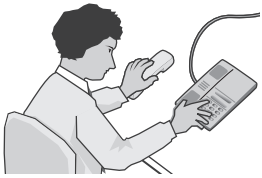
●電池で動作中に電池電圧が低下すると
マイクレベルまたはスピーカーレベルの状態ランプが点滅します。

●Bluetoothのペアリングについて
Bluetoothペアリングボタンを押すとBluetoothランプが遅い点滅をします。Bluetoothランプが速い点滅に変わるとペアリング操作ができます。

電話機と接続して使用する（R-Talk 800EX）



⑦ 電話機のハンドセットを取りあげてダイヤルし、通信相手と接続する。



⑧ 本商品に向かって会話をする。

ワンポイント

●相手からの声が大きすぎる、または小さすぎるときは
適正な音量となるよう、電話機の受話音量を調整してください。電話機で調整ができない場合は、スピーカー音量を調整してください。(☛P10)
相手からの声の大きさは状態ランプで確認できます。(☛P11)

●相手側から声が大きすぎる、または小さいと言われるときは
マイク音量を調整してください。(☛P10)

お知らせ

●携帯電話ケーブルを接続すると、電話機による通信相手との接続はできません。

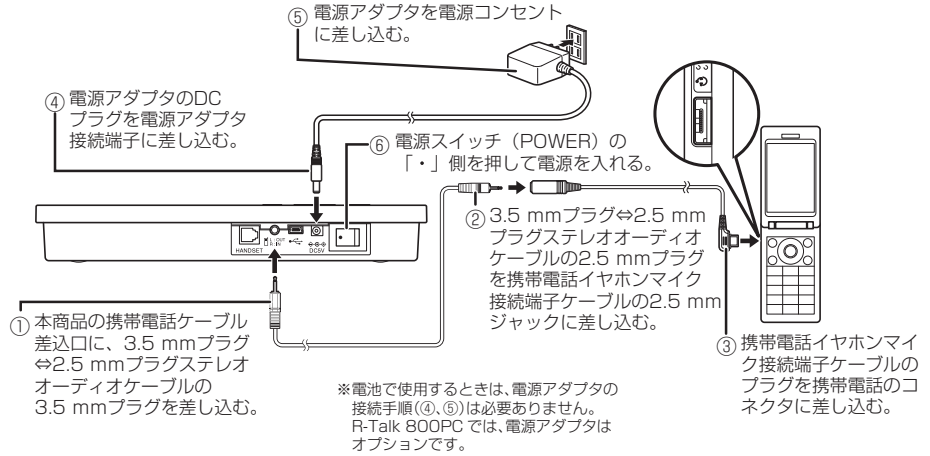
●接続する電話機は、NS-A1／NS-A2を推奨します。NS-A1／NS-A2以外の電話機を接続した場合の動作保証はしていません。

●雷などにより電話機や本商品が破損することを防止するために、サンダーガード(発売元 NTT アドバンステクノロジ株式会社)を接続してご使用ください。

●本商品に過大な信号が入力されたときは、スピーカー保護のため、スピーカー出力がOFFとなることがあります。この場合は、本商品の電源を入れ直してください。

携帯電話とケーブルで接続して使用する（R-Talk 800EX、R-Talk 800PC）

オプションのR-Talk用携帯電話ケーブルセット(☛P9)が必要です。ご利用の携帯電話に合わせてケーブルの種類を選択してください。



⑦ 携帯電話でダイヤルし、通信相手と接続する。

⑧ 本商品に向かって会話をする。

ワンポイント

●相手からの声が大きすぎる、または小さすぎるときは
適正な音量となるよう、携帯電話の受話音量を調整してください。携帯電話で調整ができない場合は、スピーカー音量を調整してください。(☛P10)
相手からの声の大きさは状態ランプで確認できます。(☛P11)

●相手側から声が大きすぎる、または小さいと言われるときは
マイク音量を調整してください。(☛P10)

お願い

●携帯電話ケーブルは、コネクタの向きに合わせて確実に接続してください。

●携帯電話やPHSは、本商品から1 m以上離してください。携帯電話やPHSと本商品が近いと、雑音が入ることがあります。

お知らせ

●携帯電話の機種によっては、別途変換コネクタが必要になる場合があります。

●ご利用になる携帯電話によっては、エコーが発生することがあります。

●本商品に過大な信号が入力されたときは、スピーカー保護のため、スピーカー出力がOFFとなることがあります。この場合は、本商品の電源を入れ直してください。

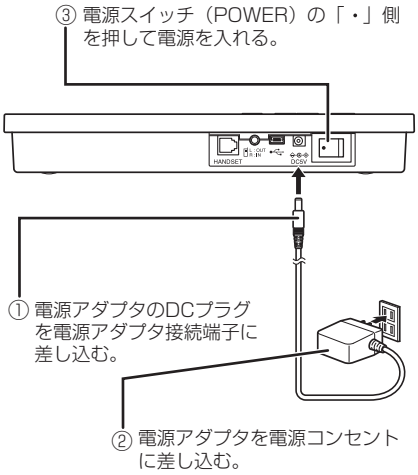
携帯電話とBluetoothで接続して使用する (R-Talk 800EX)

本商品は、Bluetoothにより携帯電話と無線接続して、通信相手とハンズフリーで通話ができます。

Bluetooth機器とペアリング(登録)操作をする

Bluetoothを使用するためには、接続する携帯電話とペアリング(登録)操作をする必要があります。接続する携帯電話の操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。ペアリング(登録)操作は初めに1回行えば良く、次からは接続操作(☛P15)のみで接続できます。

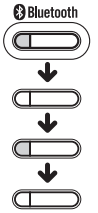
1 本商品の電源を入れる。



※電池で使用するときは、電源アダプタの接続手順（①、②）は必要ありません。

2 本商品のBluetoothペアリングボタンを押す。

Bluetoothランプが遅い点滅をします。
Bluetoothランプが速い点滅に変わったら手順3へ進みます。



3 携帯電話で、ペアリング操作をする。

本商品のデバイス名は「R-Talk」、パスキーは「0000」です。
ペアリング操作は、本商品の近く(5 m以内)から行ってください。
また、本商品のペアリング待機時間は約1分間です。

4 ペアリングが完了すると、本商品と携帯電話がBluetoothで接続され、Bluetoothランプが点灯する。

ワンポイント

- ペアリング操作を中止するには
  手順2、3で本商品の電源を切ります。
- ハンズフリーで通話するには
  携帯電話で通信相手と接続し、本商品に向かって会話をします。

お知らせ

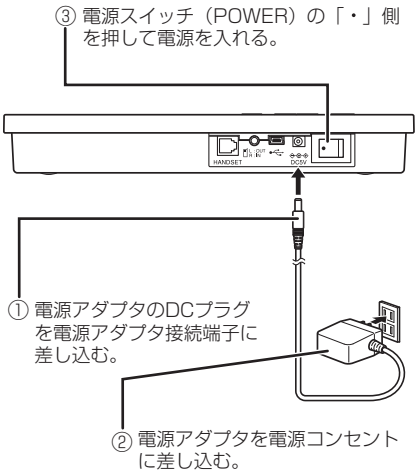
- 本商品とBluetoothで接続できる機器は1台のみです。
- Bluetooth接続中に携帯電話に電話がかかってきた場合は、本商品のスピーカーから呼出音が聞こえることがあります。
- 手順4で本商品のスピーカーから「ピ」と聞こえることがあります。

Bluetooth機器と接続する／切断する

携帯電話の操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

■接続する

1 **本商品の電源を入れる。**



※電池で使用するときは、電源アダプタの接続手順（①、②）は必要ありません。

2 **携帯電話から、Bluetoothで本商品に接続する。**

本商品のデバイス名は「R-Talk」です。本商品と携帯電話がBluetoothで接続されると、Bluetoothランプが点灯し、本商品のスピーカーから「ピ、ピ、ピ、ピ、ピ、ピ、ピ」と聞こえます。

点灯（青）

ワンポイント

●初めて利用するBluetooth機器と接続するには
ペアリング（登録）が必要です。（☛P14）

●ハンズフリーで通話するには
携帯電話で通信相手と接続し、本商品に向かって会話をします。

■切断する

1 **携帯電話から、Bluetoothを切断する。**
Bluetoothランプが消灯します。

お知らせ

●本商品の電源を入れてから、約10分間、携帯電話からの接続操作をしないと、Bluetoothの接続はできなくなります。このようなときは一度本商品の電源を切り、初めから操作をやり直してください。

●携帯電話と本商品のBluetooth接続を切断しても、約10分間以内であれば携帯電話からの接続操作で接続できます。約10分間、接続操作をしないとBluetoothの接続はできなくなります。このようなときは一度本商品の電源を切り、初めから操作をやり直してください。

●本商品の電源を入れてからの約10分間と、携帯電話と本商品のBluetooth接続を切断してからの約10分間は、Bluetoothランプは消灯しています。

●携帯電話は本商品の近く（5 m以内）で使用してください。

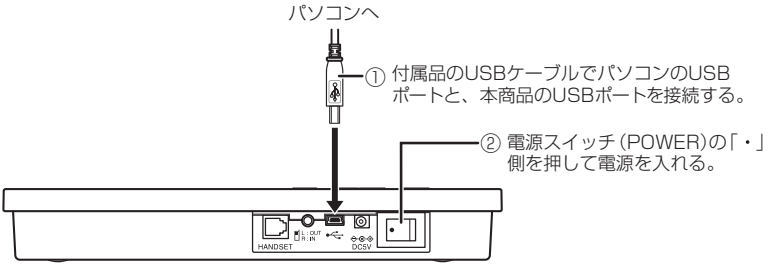
●携帯電話と本商品がBluetoothの到達距離（約5 m）以上離れた場合は、Bluetooth接続は切断されます。このようなときは一度本商品の電源を切り、初めから操作をやり直してください。

●周囲の環境によっては、携帯電話と本商品の距離が5 m以内であっても通話が途切れることがあります。このようなときは、携帯電話と本商品をできるだけ近づけてご使用ください。

●Bluetooth接続中に携帯電話に電話がかかってきた場合は、本商品のスピーカーから呼出音が聞こえることがあります。

●本商品に過大な信号が入力されたときは、スピーカー保護のため、スピーカー出力がOFFとなることがあります。この場合は、本商品の電源を入れ直してください。

パソコンとUSB接続して使用する（R-Talk 800EX、R-Talk 800PC）



③ 接続が終わったら、「パソコンの設定を確認する（Windows 7/Windows Vista）」（☛P17）
または「パソコンの設定を確認する（Windows XP）」（☛P19）へ進んでください。

④ パソコンのWeb会議アプリケーションやVoIP電話ソフトを起動して、通信相手と接続する。

⑤ 本商品に向かって会話をする。

ワンポイント

●相手からの声が大きすぎる、または小さすぎるときは
適正な音量となるよう、パソコンのスピーカー音量を調整してください。
・Windows 7/Windows Vistaをご利用の場合（☛P18）
・Windows XPをご利用の場合（☛P19）
パソコンで調整できないときは、本商品のスピーカー音量を調整してください。（☛P10）
相手からの声の大きさは状態ランプで確認できます。（☛P11）

●相手側から声が大きすぎる、または小さいと言われるときは
適正な音量となるよう、パソコンのマイク音量を調整してください。
・Windows 7/Windows Vistaをご利用の場合（☛P18）
・Windows XPをご利用の場合（☛P20）
パソコンで調整できないときは、本商品のマイク音量を調整してください。（☛P10）

●パソコンとUSB接続したときの電源は
本商品はUSBからの給電で動作しますので、電源アダプタの接続や電池を入れる必要はありません。

STOP お願い

●パソコンを使用しての通話中は、パソコンをスタンバイ、スリープ、休止状態にしないでください。

お知らせ

●本商品の電源が入っていなくても、手順①でUSB ケーブルを接続するとパソコンのオーディオデバイスとして認識されます。

●本商品に電池を入れている場合は、本商品の電源が入っているときにパソコンの電源を切ると電池動作に切り替わり、電池が消耗します。

●パソコンのWeb会議アプリケーションやVoIP電話ソフトの操作については、使用するソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

●本商品に過大な信号が入力されたときは、スピーカー保護のため、スピーカー出力がOFFとなることがあります。この場合は、本商品の電源を入れ直してください。

パソコンの設定を確認する（Windows 7/ Windows Vista）

以下の手順に従って、パソコンの設定を確認してください。ここでは、Windows 7の通常の画面イメージで説明しています。お使いのパソコンによっては、表示が異なる場合があります。

■設定の確認

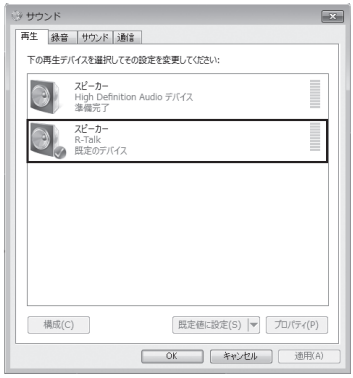
1 **[スタート]をクリックし、[コントロールパネル]をクリックする。**

2 **[ハードウェアとサウンド]をクリックする。**

3 **[オーディオデバイスの管理]をクリックする。**

4 **[サウンド]の[再生]画面を確認する。**

[スピーカー R-Talk]が選択されていることを確認する。
[スピーカー USB オーディオ デバイス]と表示される場合もあります。



5 **[サウンド]の[録音]画面を確認する。**

①[録音]タブをクリックする。
②[マイク R-Talk]が選択されていることを確認する。
[マイク USB オーディオ デバイス]と表示される場合もあります。

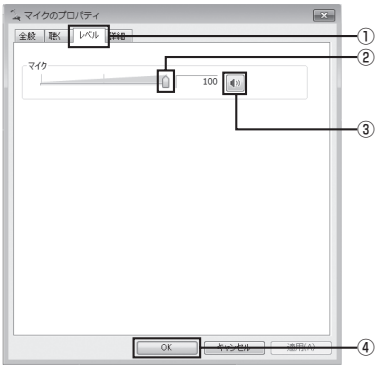
（次ページへ続く）

■マイク音量とスピーカー音量を調整する

6 **[マイク R-Talk]をクリックし、[プロパティ]をクリックする。**

7 **マイク音量を調整する。**

① [レベル]タブをクリックする。
② [マイク]の音量を最大に調整する。
マイク音量が大きすぎるときは、音量を下げてください。
③[マイク]アイコンが になっていることを確認する。
になっている場合は、 をクリックして にしてください。
④[OK]をクリックして画面を閉じる。

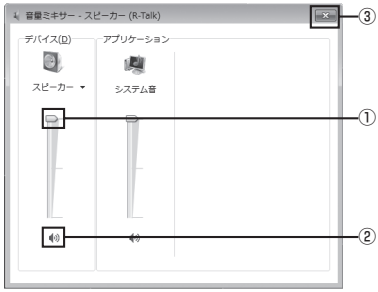


8 **[サウンド]画面右上の[×]をクリックして画面を閉じる。**

9 **[ハードウェアとサウンド]画面の[システム音量の調整]をクリックする。**

10 **スピーカー音量を調整する。**

①[スピーカー]の音量を最大に調整する。
スピーカー音量が大きすぎるときは、音量を下げてください。
②[スピーカー]アイコンが になっていることを確認する。
になっている場合は、 をクリックして にしてください。
③右上の[×]をクリックして画面を閉じる。



11 **[ハードウェアとサウンド]画面右上の[×]をクリックして画面を閉じる。**

設定の確認はこれで終了です。

パソコンの設定を確認する(Windows XP)

以下の手順に従って、パソコンの設定を確認してください。ここでは、Windows XP(カテゴリ表示モード)の画面イメージで説明しています。お使いのパソコンによっては、表示が異なる場合があります。

■設定の確認

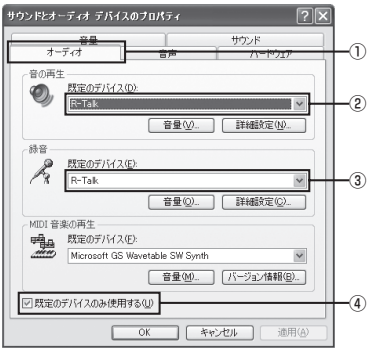
1 **[スタート]をクリックし、[コントロールパネル]をクリックする。**

2 **[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]をクリックする。**

3 **[サウンドとオーディオデバイス]をクリックする。**

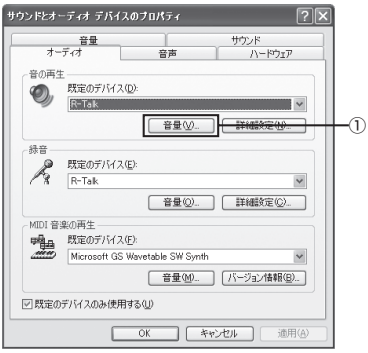
4 **[オーディオ]画面を確認する。**

①[オーディオ]タブをクリックする。
②[音の再生]の[既定のデバイス]に[R-Talk]が選択されていることを確認する。
③[録音]の[既定のデバイス]に[R-Talk]が選択されていることを確認する。
④[既定のデバイスのみ使用する]にチェックがついていることを確認する。
チェックがついていない場合は、チェックを入れてください。

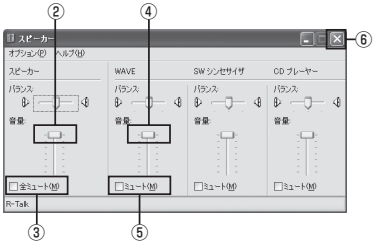


■マイク音量とスピーカー音量を調整する

5 **スピーカー音量を調整する。**
①[音の再生]の[音量]をクリックする。



②[スピーカー]の[音量]を[最大]に調整する。
スピーカー音量が大きすぎるときは、音量を下げてください。



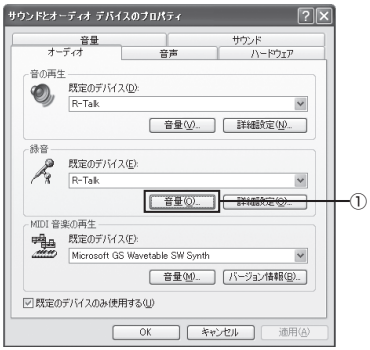
③[スピーカー]の[全ミュート]にチェックがついていないことを確認する。
チェックがついている場合は、チェックを外してください。
④[WAVE]の[音量]を[最大]に調整する。

(次ページへ続く)

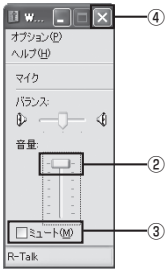
⑤[WAVE]の[ミュート]にチェックがついていないことを確認する。
チェックがついている場合は、チェックを外してください。
⑥右上の[×]をクリックして画面を閉じる。

6 マイク音量を調整する。

①[録音]の[音量]をクリックする。



②[マイク]の[音量]を[最大]に調整する。
マイク音量が大きすぎるときは、音量を下げてください。
③[マイク]の[ミュート]にチェックがついていないことを確認する。
チェックがついている場合は、チェックを外してください。
④右上の[×]をクリックして画面を閉じる。



7 [サウンドとオーディオデバイスのプロパティ]画面の[OK]をクリックする。

8 [サウンド、音声、およびオーディオデバイス]画面右上の[×]をクリックして画面を閉じる。

設定の確認はこれで終了です。

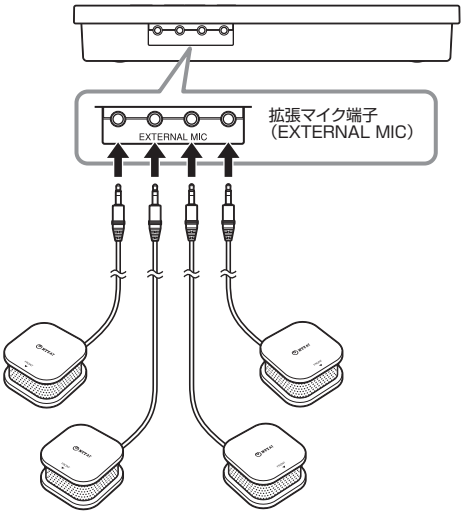
拡張マイクの使いかた

多人数での会議など、本体の内蔵マイクで収音が十分できないときは、拡張マイクを接続してください。拡張マイクを接続した場合も本体の内蔵マイクは収音します。

■拡張マイクの接続

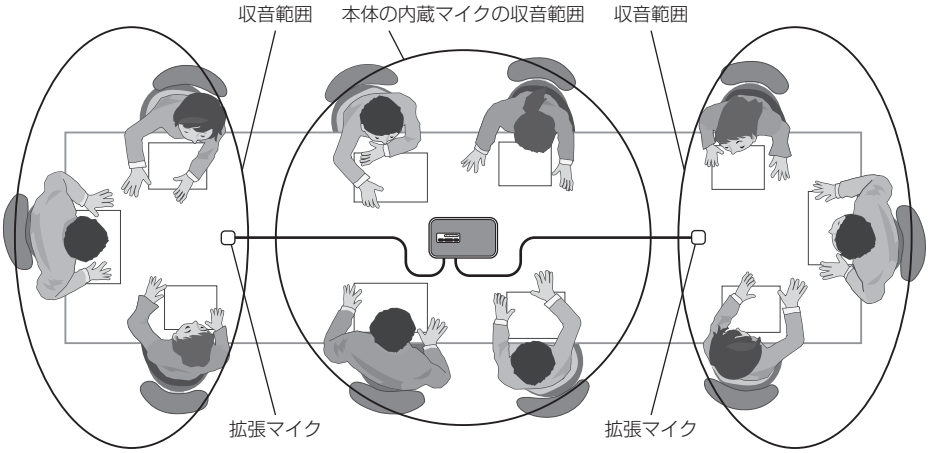
拡張マイクは、本商品のEXTERNAL MIC端子に接続してください。

- 1個は付属しています。
- 4個まで接続できます。2個以上の拡張マイクが必要なときは、お買い求めになった販売店でオプション品をお買い求めください。
- 拡張マイクのケーブルを拡張マイクの周りに巻きつけて保管することができます。



■拡張マイクの収音範囲

拡張マイクの収音範囲は、前方約180°です。



ワンポイント

- 拡張マイクを使用するときは
  拡張マイクのケーブルは、すべてほどいて使用してください。拡張マイクは、NTTATの表示がある面を表にしてください。

STOP お願い

- 拡張マイクのケーブルを抜き差しするときは、本商品の電源を切ってから行ってください。

R-Talk 800EXの仕様

項　目	仕　様
USBポート	USB1.1 フルスピード／ AC97準拠
Bluetooth送受信	HFP/HSP対応、到達距離 約5 m
Bluetooth仕様	Bluetooth 2.0＋EDR
携帯電話ケーブル差込口入力	φ3.5 mmステレオミニジャック(入力、出力兼用)
携帯電話ケーブル差込口出力	φ3.5 mmステレオミニジャック(入力、出力兼用)
拡張マイク入力	φ3.5 mmミニジャック×4
ハンドセットコード差込口	4ピンモジュラジャック
マイク	本体に内蔵
スピーカー	本体に内蔵
周波数帯域	100 Hz～ 14 kHz
エコー消去時間	128 ms
安心基準	VCCI　クラスB PSE対応 RoHS指令準拠
使用電源	AC100 V～240 V(50／ 60 Hz) (専用電源アダプタ使用)
	単3形アルカリ乾電池4本または単3形ニッケル水素電池4本
消費電力	最大6 W(専用電源アダプタ使用時)
外形寸法	約226 mm(W)×約134 mm(D)×33 mm(H)
質量(本体)	約600 g
使用条件	温度：0 ℃～ 40 ℃ 湿度：20 %～ 80 %(結露しないこと)
対応OS	• Windows XP Home Edition(SP3) Windows XP Professional(SP3) • Windows Vista Home Basic(32 bit) Windows Vista Home Premium(32 bit) Windows Vista Business(32 bit) Windows Vista Ultimate(32 bit) • Windows 7 Starter(32 bit) Windows 7 Home Premium(32/64 bit) Windows 7 Professional(32/64 bit) Windows 7 Ultimate(32/64 bit)

R-Talk 800PCの仕様

項　目	仕　様
USBポート	USB1.1 フルスピード／ AC97準拠
携帯電話ケーブル差込口入力	φ3.5 mmステレオミニジャック（入力、出力兼用）
携帯電話ケーブル差込口出力	φ3.5 mmステレオミニジャック（入力、出力兼用）
拡張マイク入力	φ3.5 mmミニジャック×4
マイク	本体に内蔵
スピーカー	本体に内蔵
周波数帯域	100 Hz～ 14 kHz
エコー消去時間	128 ms
安心基準	VCCI　クラスB PSE対応 RoHS指令準拠
使用電源	AC100 V～ 240 V(50／ 60 Hz) (専用電源アダプタ使用)
	単3形アルカリ乾電池4本または単3形ニッケル水素電池4本
消費電力	最大6 W(専用電源アダプタ使用時)
外形寸法	約226 mm(W)×約134 mm(D)×33 mm(H)
質量(本体)	約580 g
使用条件	温度：0 ℃～ 40 ℃ 湿度：20 %～ 80 %(結露しないこと)
対応OS	• Windows XP Home Edition(SP3) Windows XP Professional(SP3) • Windows Vista Home Basic(32 bit) Windows Vista Home Premium(32 bit) Windows Vista Business(32 bit) Windows Vista Ultimate(32 bit) • Windows 7 Starter(32 bit) Windows 7 Home Premium(32/64 bit) Windows 7 Professional(32/64 bit) Windows 7 Ultimate(32/64 bit)

保　　証　　書
WARRANTY CARD

NTT AT

お客様控え

製品名 Product	
製造番号 Serial No.	
保証期間 Purchase Date	お買い上げ日 年 Year　月 Month　日 Date　から1年間
フリガナ ご芳名 Customer	
ご住所 Address	〒 TEL:(　　)－　　－
販売店名、住所、TEL Reseller	

●お客様へ
このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
本保証書は保証規定の条件にしたがい、左記製品に対する保証サービスをご提供申し上げるものです。
記入事項に記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認の上、洩れの事項がありましたら、直ちにお買い上げの販売店にお申し付けください。

●販売店様へ
本保証書は、所定事項を記入して効力を発するものです。
必ず、お買い上げ日・貴販売店名・ご住所・電話番号をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。

NTTアドバンステクノロジ株式会社
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミューザ川崎セントラルタワー
TEL：0120-057-601 FAX：0120-057-602
e-mail：realtalk@ml.ntt-at.co.jp
URL：http://www.ntt-at.co.jp/product/ec/

◇　保証規定　◇

●製品の保証期間はご購入後1年間です。保証期間中につきましては次の規定によりサービス保証いたします。
1. 購入年月日、シリアルNo.の記入がない場合は無効とします。
2. 正常な使用状態において製造上の責任による故障が発生した場合には無償修理をいたします。
3. 次の場合には有効期間中でも無償保証をいたしません。
A. 本マニュアルの記載事項を守らなかったために発生した場合の故障又は損傷
B. 改造されたり、不当な修理をされたことに起因する故障又は損傷
C. 地震、風水害、その他の不測の事故による損傷
D. 本保証書のご提示がない場合
E. 本保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの
4. 本製品の故障又はその使用上生じた直後、間接の損害につきましては、当社はその責任を負いかねます。
5. 本保証書は日本国内でのみ有効です。

・保証期間中に修理をお受けになるときには、本保証書と製品を弊社ユーザーサポートまでお送りください。なお、不具合の状況をあらかじめ簡単な文章にして添付していただきますと、的確なサポートができますのでご協力ください。
・本保証書は、保証規定に基づいて保証期間の無償修理をお約束するものです。
期間経過後の有償修理もお受けしますので、弊社ユーザーサポートまでお問い合わせください。
・弊社への修理品の発送時に発生する送料につきましては、ご負担いただきます。
・修理の際には、データのバックアップは行いません。

この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間終了後の修理、アフターサービスなどについてご不明な点はお買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。